

あいのり

Monthly

2024.9.30



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT



(続) 今後の相場見通し

(2024.10.4)

今年もあと残り3か月となりました。9か月経ちましたので今回は、年初に掲げた相場の見通し (https://pmam.co.jp/assets/2024/01/20231229_ainori_monthly.pdf.pdf) からの途中経過と、これから2025年を迎えるにあたってどのような方向で見ているかの根拠をお伝えできればと思います。

結論をまとめますと以下の通りです。

- ① 年初掲げた目標値及びその根拠となる事象は、方向性として大方想定通り。
- ② ファンダメンタル的には今後ソフトランディング実現の可能性が高まり、少なくとも2025年前半頃までは株式市場にとっては良い環境が続くことがメインシナリオ。
- ③ ただし、現状の株式の割安感はなく、引き続き雇用などの経済指標や価格を注視していくことが重要と考えます。

1 年初時点の2024年末の予測値

- (1) 年初に示した予測値と9月末の終値は以下の通り、S&P500は当初16%の上昇を見込んでいたところ既に年初から21%上昇し、日経平均は18%の上昇を見込んでいたところ現状+13%のところにあります。

		年初予測値		9月30日時点	
		①2024年末 見通し・予測値	年初からの 上昇率	終値	年初からの 上昇率
1	S&P500	5,530	16%	5,762	21%
2	日経平均	39,580	18%	37,918	13%



(TradingViewにて作成)

- (2) S&P500の上昇率が予想を超えていますが、主に年初からAIブームが起こったこと、また企業業績が当初予想されていた以上に上振れしたことから考えています。
- (3) 日経平均は、9月末こそ38,000円を切っていますが、7月時点では42,000円を一時期上回るなど示現していました。採用銘柄の1株当たり利益が2,500円近辺の最高値まで伸びてきており、再度42,000円を超えていくことは可能と考えています。

2 各相場見通しの根拠と現状

同見通しで述べた、2024年に日米株式の強気スタンスであった根拠をまとめた表です。

	米国・日本株式の強気予測の根拠	9か月後の現状	判定
①	雇用をはじめ堅調な米国経済	失業率上昇傾向(3.7%→4.2%)だがまだ歴史的に低い水準。 今年の米GDP成長率予測は2.7%、2025年は1.9%(IMF)。	△
②	良好な企業業績	EPS予想成長率 2024年+12% → 2025年+16.5%へ加速見込み	○
③	インフレ鎮静化(人口動態・AI普及)	CPI 2024年1月 3.1% → 9月 2.5% PCEコア・デフレーター 1月 3.1% → 8月 2.7% →鎮静化方向	○
④	利下げ期待	2024年9月FOMCにて政策金利引き下げ開始	○
⑤	アナリストが弱気 膨大な待機資金(MMF)	弱気派は少し減少。(大半が10月弱く、11月・12月上昇と予測。) 待機資金は引き続き6兆ドル以上。増加中。	△
⑥	大統領選	引き続き不確定要素。	△
⑦	AI普及による生産性向上	膨大な先行投資進むも未だAI普及は道半ば。	△
⑧	(日本)デフレ終焉	円安など外的要因でCPIは3%(コアコア2%)で推移も、 需給ギャップは未だマイナス	△

(○：良化、△：中立、×：悪化)

- (1) 今後株式が引き続き上昇が期待できる要素としては、②企業業績が2025年に加速すること、③インフレが鎮静化に向かっていること、④利下げサイクルとなり、株式には非常に良い環境となっている認識です。
- (2) 一方、今後注視すべきは、①雇用をはじめ景気動向、⑤アナリストが強気になり過ぎていないか、⑥大統領選で政権交代が起きないか、⑦AIブームが終わらないか、ということになり、今年のEPSが24倍('25年EPSでは21倍)と割安な水準でない為、経済状況の変化には迅速に対応すべきと考えます。
- (3) 尚、日本については、デフレ経済の脱却を掲げているものの、未だ完全に脱却しておらず、現状の日経平均は、米国株式とドル円の動向次第の相場になっており、日本独自の成長戦略、需給ギャップのプラス化、構造改革が望まれます。

長期的なリスクとして、米国政府・消費者の負債、米不動産とそのファイナンス、地政学的リスクを懸念していますが、これらは別の機会にご報告出来ればと思います。



パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎

9月のマーケット概要

歴史的に1年で最も弱い9月に関わらず、米国株式は上昇しました。インフレは鎮静化の方向へ進んでいると認識される中、マーケットの関心は引き続き米経済のハードランディングを回避することが出来るかに注目が集まっています。米雇用統計では、失業率が前月比悪化しなかったものの、雇用は全般的に緩んできている中、中旬に開催された米FOMCでFF金利を4.75%~5.00%~0.5%の大幅利下げを行い、これが「インフレ低下による物価と政策金利との乖離を調整するものであること、ソフトランディングに向けより機動的に対応すべく予防的な利下げであり、景気は悪くない」ということがマーケットに好感されたことでNYダウやS&P500は史上最高値を更新しました。

日本では日銀金融政策決定会合が開催され政策金利は据え置かれましたが、日経平均については、1株当りの企業利益も最高値圏に上昇してきたものの、日米金利差の縮小により円高が進み、35000円から39000円でのレンジ相場になりました。

米国の利下げサイクルが開始されたことから、ゴールドが5%以上と大幅上昇し、史上最高値を更新しています。また中国においては、数年ぶりに大規模景気刺激策を発表し、中国株式市場は底値圏から連日大きく上昇しています。

今後につきましては、米国の景気後退が現実視されるような悪材料は未だない中、利下げが開始されたことは株式市場にとっては良い環境となるものの、株価水準としては決して割安ではないことから、雇用をはじめとする経済状況の急速な悪化、中東の地政学リスク、11月の米大統領選挙動向次第では大きく動くことも想定します。引き続き景気、特に雇用に関する経済指標、日本においては総選挙などを注視していきたいと思っております。※X(旧ツイッター)にも日頃のコメント(つぶやき)を掲載しておりますのでご参照いただければと思います。



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリティアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset



パリティアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎

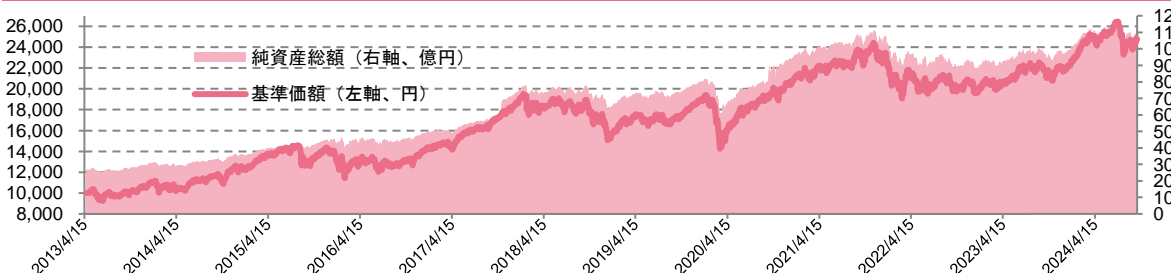
コードファンド 変幻自在ずーっとおまかせ

【9月の運用コメント】

基準価額は月間で+0.97%となり、年初来で+11.42%となりました。月末時点のキャッシュ比率は前月の18.76%から8.95%へ減少しております。今月約2円の円高に推移したことによるポートフォリオへの影響度は▲0.3%でした。月末時点の外貨建て資産は全体の40%ですが、為替ヘッジにより外貨建てリスクは実質28%となっております。

上昇に寄与したのはピクテ・ゴールド(為替ヘッジ付)(騰落率+5.16%)、SBIネクストジャパン(同+5.18%)などでした。一方、下落の寄与が最も大きかったのは、モーラント(騰落率▲2.74%)でした。9月中の売買は各種主要ETFを中心に追加購入し、売却はありませんでした。引き続き調整があったところは追加していきたいと思っております。

基準価額と純資産総額の推移



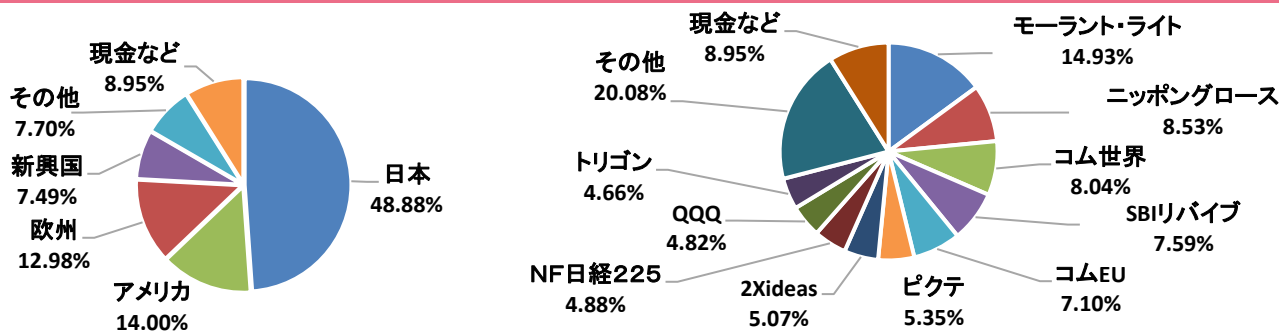
組み入れファンドTOP5 基準価額の月比

モーラント	-2.74%
ニッポングロース	0.46%
コムジェスト世界	3.18%
SBIリバイブ	2.35%
コムジェストEU	2.16%

コードファンド概況

基準価額	24,760円	信託期間	無期限
純資産総額	11,074百万円	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)
設定日	2013年4月15日		

資産構成比率(組入ファンド全19本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
0.97%	-4.86%	-1.33%	14.32%	7.51%	42.68%	109.65%	147.60%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(7.36%)	(7.68%)	(8.23%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【9月の運用コメント】

基準価額は月間で+2.21%となり、年初来で+14.08%となりました。月末時点のキャッシュ比率は前月の18.13%から9.39%へ減少しております。

今月約2円の円高に推移したことによるポートフォリオへの影響度は▲0.34%でした。月末時点の外貨建て資産は全体の43%ですが、為替ヘッジにより外貨建てリスクは実質32%となっております。

上昇に寄与したのはコムジェスト世界株式（騰落率+3.18%）、シンプレクス中計ファンド（同+2.50%）などでした。

9月中の売買は各種主要ETFを中心に追加購入し、売却はありませんでした。

調整があったところは追加していきたいと思います。

基準価額と純資産総額の推移



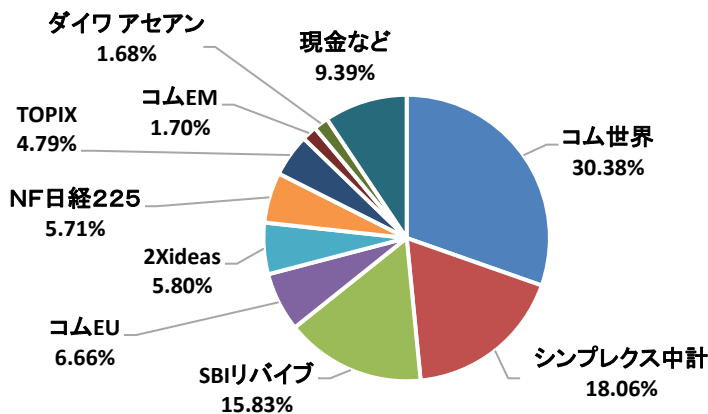
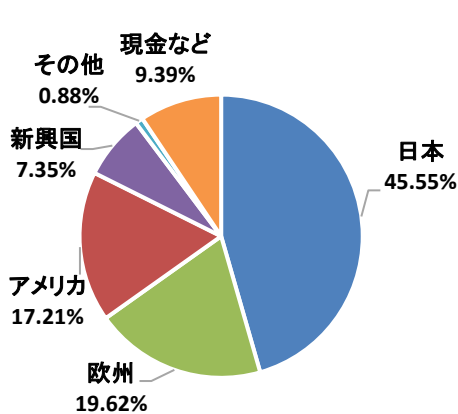
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

コムジェスト世界	3.18%
シンプレクス中計	2.50%
SBIリバイブ	2.35%
コムジェストEU	2.16%
2Xideas	1.41%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	31,013円	信託期間	無期限
純資産総額	1,922百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日		(休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率（組入ファンド全9本）（左：国別、右：ファンド別）



期間別騰落率 (%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
2.21%	-2.87%	1.85%	18.55%	14.98%	52.95%	115.44%	210.13%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(8.86%)	(7.97%)	(7.10%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率0.99% (税抜き0.9%)

組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5% (税込/概算)

コモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント／金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

組入れファンドの投資銘柄

◆組入れファンドのうち、公開されている投資銘柄の組入れ比率TOP10を記載しております。

※1 TOP5しか公開されていないファンドはTOP5を記載しております。

※2 トリゴン、シンプレクス中計、ピクテ・ゴールドは投資銘柄が公表されていないため、投資セクター比率を記載しております。

SBIジェイリバイブ	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
MCJ	日本	3.84%
大塚商会	日本	3.59%
レック	日本	3.54%
藤森工業	日本	3.48%
ネットワンシステムズ	日本	3.37%
サイゼリヤ	日本	3.26%
ドウシヤ	日本	3.24%
船井総研ホールディングス	日本	2.91%
デジタルアーツ	日本	2.89%
JCU	日本	2.77%

SBIジェイクル	組入れ	コドモ
INTLOOP	日本	3.97%
BuySell Technologies	日本	3.97%
グローバルセキュリティエキスパート	日本	3.89%
ワンキャリア	日本	3.78%
ボードルア	日本	3.74%
守谷輸送機工業	日本	3.69%
湖北工業	日本	3.60%
ビーイングホールディングス	日本	3.34%
オカムラ食品工業	日本	3.34%
GMOフィナンシャルゲート	日本	3.08%

SBIネクストジャパン	組入れ	コドモ
前田工織	日本	3.89%
トランザクション	日本	3.87%
ジャパンエレベーターサービスホールディングス	日本	3.76%
エムアップホールディングス	日本	3.42%
トーカロ	日本	3.33%
プレミアグループ	日本	3.32%
ジャパンマテリアル	日本	3.24%
インソース	日本	3.13%
メック	日本	3.08%
エラン	日本	3.00%

モーラント・ライト	組入れ	コドモ
Sumitomo Mitsui Trust	日本	3.70%
Sumitomo Mitsui Financial Group	日本	3.50%
Mitsubishi UFJ Financial Group	日本	3.50%
Dai-ichi Life Holdings	日本	3.30%
Fuji Media Holdings	日本	3.00%
Honda Motor Co.	日本	3.00%
Concordia Financial Group	日本	2.90%
Inpex	日本	2.80%
NHK Spring	日本	2.60%
Tsubakimoto Chain	日本	2.50%

シンプレクス中計 ※2	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
サービス業		11.34%
電気機器		9.49%
機械		8.29%
情報・通信業		8.19%
保険業		7.72%

ニッポングロース ※1	組入れ	コドモ
ITOCHU Corp	日本	8.12%
Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	日本	7.39%
Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	日本	7.30%
Mitsubishi Corp	日本	5.10%
ORIX Corp	日本	4.82%

NF日経225	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
ファーストリテイリング	日本	10.80%
東京エレクトロン	日本	6.40%
アドバンテスト	日本	4.50%
ソフトバンクグループ	日本	4.30%
信越化学工業	日本	2.50%
K D D I	日本	2.30%
T D K	日本	2.30%
リクルートホールディングス	日本	2.20%
テルモ	日本	1.80%
ファナック	日本	1.80%

NFTOPIX	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
トヨタ自動車	日本	3.50%
ソニーグループ	日本	2.50%
日立製作所	日本	2.40%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	2.30%
キーエンス	日本	1.80%
リクルートホールディングス	日本	1.70%
三井住友フィナンシャルグループ	日本	1.60%
三菱商事	日本	1.60%
伊藤忠商事	日本	1.40%
信越化学工業	日本	1.40%

トリゴン ※2	組入れ	コドモ
Financials		32.40%
Consumer		20.10%
Health Care		9.10%
Energy		8.00%
Materials		6.00%
Industrials		5.30%
Bonds		4.90%
IT		4.80%
Real Estate		2.80%
Telecoms		2.30%

コムジエストEU	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
ASMLホールディング	オランダ	7.27%
ノボ・ノルディスク	デンマーク	7.04%
エシロールルックスオティカ	フランス	4.88%
アルコン	スイス	4.18%
エクスペリアン	イギリス	4.11%
アクセンチュア	アイルランド	3.92%
ストローマン・ホールディング	スイス	3.81%
シュナイダーエレクトリック	フランス	3.58%
ダッソー・システムズ	フランス	3.41%
フェラーリ	イタリア	2.77%

QQQ	組入れ	コドモ
Microsoft	アメリカ	8.64%
Apple	アメリカ	8.40%
Nvidia	アメリカ	7.91%
Amazon	アメリカ	5.23%
Broadcom	アメリカ	5.00%
Meta Platforms 'A'	アメリカ	4.57%
Alphabet 'A'	アメリカ	2.78%
Alphabet 'C'	アメリカ	2.68%
Costco Wholesale	アメリカ	2.53%
Tesla	アメリカ	2.49%

コムジェスト世界	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
マイクロソフト	アメリカ	7.06%
ASMLホールディング	オランダ	5.75%
台湾セミコンダクター (TSMC)	台湾	5.69%
イーライリリー	アメリカ	5.57%
リンデ	イギリス	4.52%
インテュイット	アメリカ	4.29%
エシロールルックスオティカ	フランス	4.11%
アルコン	スイス	4.03%
ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	3.98%
エクスペリアン	イギリス	3.82%

2Xideas	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
MonotaRO	日本	1.50%
Lantheus	アメリカ	1.50%
ResMed	アメリカ	1.40%
Kinsale	アメリカ	1.40%
Fortinet	アメリカ	1.40%
MercadoLibre	中南米	1.40%
Kerry	ヨーロッパ	1.40%
Haleon	ヨーロッパ	1.40%
Halozyme	アメリカ	1.30%
ASM International NV	ヨーロッパ	1.30%

ストーン・ヘイジ	組入れ	コドモ
Microsoft	アメリカ	7.40%
Amazon	アメリカ	6.50%
Alphabet	アメリカ	5.80%
Cadence	アメリカ	5.00%
EssilorLuxottica	ヨーロッパ	4.50%
S&P Global	アメリカ	4.50%
ASML	ヨーロッパ	4.20%
AJ Gallagher	アメリカ	3.80%
Zoetis	アメリカ	3.80%
Linde	ヨーロッパ	3.80%

VANECK GOLD MINERS ETF	組入れ	コドモ
NEWMONT CORP	アメリカ	15.56%
AGNICO EAGLE MINES LIMITED/MINES AGNICO	カナダ	10.26%
BARRICK GOLD CORP	カナダ	8.96%
WHEATON PRECIOUS METALS CORP	カナダ	7.08%
FRANCO-NEVADA CORP	カナダ	5.93%
ANGLOGOLD ASHANTI PLC	南アフリカ	3.80%
GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	3.75%
NORTHERN STAR RESOURCES LTD	オーストラリア	3.59%
ZIJIN MINING GROUP CO LTD	中国	3.52%
KINROSS GOLD CORP	カナダ	3.39%

コムジェストEM	組入れ	浪花おふくろ
台湾セミコンダクター (TSMC)	台湾	9.23%
テンセント・ホールディングス (騰訊控股)	中国	6.51%
メルカドリブレ	アルゼンチン	4.57%
サムスン電子	韓国	3.97%
ウェグ	ブラジル	3.89%
ASMLホールディング	オランダ	3.88%
マルチ・スズキ・インディア	インド	3.80%
デルタ電子	台湾	3.75%
パワー・グリッド・コーポレーション・オブ・インディア	インド	3.67%
ディスカバリー	南アフリカ	3.29%

ダイワ アセアン	組入れ	コドモ 浪花おふくろ
COM7 PCL-F	タイ	4.92%
RHB CAPITAL BHD	マレーシア	4.69%
METROPOLITAN BANK & TRUST	フィリピン	3.54%
YINSON HOLDINGS BHD	マレーシア	3.36%
ITMAX SYSTEM BHD	マレーシア	3.28%
CHAROEN POKPHAND FOODS PUB	タイ	2.91%
BFI FINANCE INDONESIA TBK PT	インドネシア	2.84%
MAXIS BHD	マレーシア	2.60%
MUANGTHAI CAPITAL PCL-FOREIG	タイ	2.59%
JAPFA COMFEED INDONES-TBK PT	インドネシア	2.46%

Lumen	組入れ	コドモ
FPT Corp	ベトナム	6.64%
Vietnam Dairy Product Corp.	ベトナム	5.78%
Masan Group	ベトナム	5.15%
Saigon Thuong Tin CJSBank	ベトナム	4.83%
VietNam JSC Bank for Ind & Trd	ベトナム	4.66%
Baoviet Holdings	ベトナム	4.06%
Vietnam National Petroleum Group	ベトナム	3.74%
Hoa Phat Group Joint Stock Co.	ベトナム	3.73%
Mobile World	ベトナム	3.42%
KinhBac City	ベトナム	3.37%

チカラ インディアン	組入れ	コドモ
HDFC Bank Ltd	インド	9.60%
Kotak Mahindra Bank Ltd	インド	9.20%
Narayana Hrudayalaya Ltd	インド	6.60%
ICICI Bank Ltd	インド	6.00%
Delhivery Ltd	インド	5.10%
Bharti Airtel	インド	4.40%
PB Fintech Ltd	インド	4.40%
Bajaj Finance Ltd	インド	4.40%
HDFC Standard Life Insurance	インド	4.20%
Zomato Ltd	インド	4.20%

ピクテ・ゴールド ※2	組入れ	コドモ
金	100%	



あいのり仲間

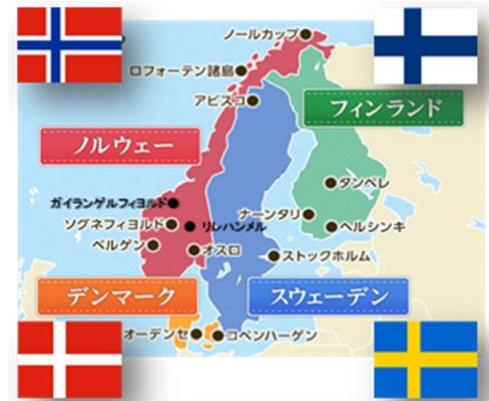
パリミキ AM 流の『いかす』を活かした「プライベート版ヴィンテージになれるかもツアー“北欧”編」

榎原宏

今年の夏、北欧（デンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデン）を旅行してきました。フランスやスイスに比べてあまり注目されていない旅先と思いますが、未知のヴィンテージの世界に触れることができました。

今回、私が北欧を旅先に選んだ理由は、(1)高校時代地理の教科書の口絵で感銘を受けたノルウェーのソグネフィヨルド（氷河が造った峡谷）を観たい。(2)好きなロックグループ“アバ”の音楽を発祥の地ストックホルムの街で堪能したい。(3)北欧のワインを知りたい。この3つの想いをもって旅が始まりました。

旅の前半、ノルウェーでは“自然の探索”、後半のスウェーデン、フィンランド、デンマークでは“都市・街中の散策”が中心です。少しでも北欧の雰囲気を感じて頂ければ幸いです。それでは北欧の旅に出かけてみましょう。



1日目：ノルウェー：フィヨルドの海側の玄関口「ベルゲン」

<左>真夜中（午前 1:30 頃）でありながら、太陽の明るさが地平線に微妙に残る『完全には「沈まぬ太陽」』の状態。
<右>港町ベルゲン（世界遺産）：ここから約 200km 近く内陸までフィヨルドが続く。



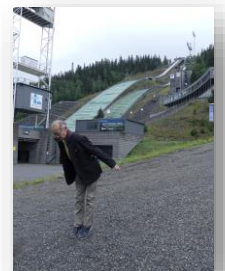
2日目：ノルウェー：ソグネフィヨルド

<右 2 枚>絶壁に囲まれたソグネフィヨルド（最大の水深は 1,300m）、周りの皆さんも一言も声が出ず、大自然の壮大さを感じました。絶壁が崩れそうなところも数か所あるようで、崩れた場合、沿岸地域に 40m 近くの津波が襲い、それに対応した“想定内”の避難訓練も実施されているそうです。



3日目：ノルウェー：プリスクダール氷河

<左 2 枚>氷河の末端とその氷河湖。北半球なので真夏ですが、長袖でないと寒いです。日本の気温が 40 度近い時期、現地の気温はその半分 20 度程度。氷河湖の水は氷河が解けたばかりなので、当然冷たく、この水でビールを冷やして飲んだら最高！と思いました。



3日目：ノルウェー：リレハンメル（スキージャンプ台）

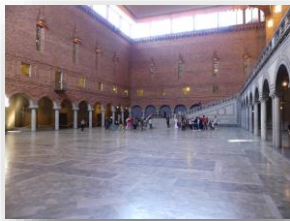
<右 2 枚> 1994 年冬季五輪開催の地
この年から夏季・冬季オリンピックが同年開催から 2 年ごとの開催に変更されました。
この日の夜、フランスのパリでオリンピックの開会式が行われ、ホテルのテレビでリアルタイムの観戦ができました。



4日目：ノルウェー：首都オスロ

<左>ムンク美術館、<右>ムンクの「叫び」の 1 枚
この美術館には 3 種類の「叫び」が展示されており、30 分ごとに一つずつ現れる仕組み。時間を忘れてしまうくらい広い館内です。ちなみに物価の高い（日本の 3 倍くらい）ノルウェーでこの美術館の隣の新築のマンション（約 60 m²）が日本円で 1 億円くらいだそうです。高い？安い？





5日目：スウェーデン：首都ストックホルム

<左>ストックホルム市庁舎：ノーベル賞授賞式晩餐会会場、一般の人も借りることができ日本円で約100万円/日だそうです。パリミキ版ヴィンテージになれるかもツアーでの大宴会場として使えそうですね(笑)。
<右>地下鉄構内：いざという時の防空壕になるそうです。



6～7日目：スウェーデン⇒フィンランドへの移動

<左>タリクシリア号（ほんの少し豪華な客船）でストックホルムからヘルシンキへ16時間の船旅。フィンランド出身のムーミンがお出迎え、船内は各種エンターテインメント、カジノ、免税店が充実し、寝不足になりました。



7日目：フィンランド：首都ヘルシンキ

<左>ヘルシンキ中央図書館：2018年建国100年を記念して建設。船の形をイメージした近代的図書館。

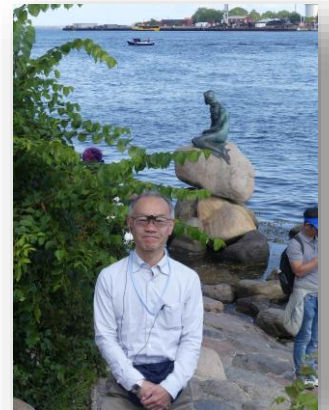
<右>図書館の3Fバルコニー：サンドイッチとコーヒーを持ち込みランチタイム。2時間くらい長居してしまいました。



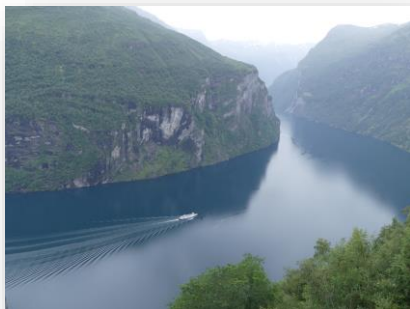
8日目：デンマーク：首都コペンハーゲン

<左>アンデルセンの銅像：市内の広場にあるアンデルセンの目先は、チボリ公園という大人も楽しめる「おとぎの国の公園」を向いています。童心に帰り心が和む瞬間です。

<右>人魚姫の像：常に観光客で溢れかえっている観光名所。「アンデルセンの童話」を読み返すきっかけとなりました。



旅を振り返って、予備知識を持たない旅でも新しい発見の連続でした。



<上左>フィヨルド：言葉で表すことができないくらい壮大なスケールの自然の賜物です。

一見の価値はあります。現場・現物・現実に勝るものはないと思います。

<上中>ストックホルムの街中の公園のベンチで“アバ”の音楽を堪能。贅沢な時間を過ごしました。

<上右>今回のワインの収穫品：右からイタリア(FERRARI/白泡)、ウクライナ(赤)、デンマーク(赤)。

北欧産のワインはあまり見かけませんでした。世界のワインが充実していました。

如何でしたでしょうか。人間いくつになっても「感動」することの大切さを身に染みて感じた旅でした。

すごいレポートですね。旅のそもそもの始まりが、「ソグネフィヨルドを見たい」、「アバの音楽の発祥の地で彼らの音楽を堪能したい」、「北欧のワインを知りたい」、なんていかにも探求心の塊の榊原さんらしいですね。写真もバランスよく準備されていて旅行ガイドみたいです。

「ヴィンテージになれるかもツアー」の次の企画もご協力よろしくお願いたします。

真に「国民を守る」とは



石破内閣総理大臣
(Wikipedia より)
民主党官邸 (PMO)
CC BY 4.0, via Wikimedia Commons

先の自民党総裁選で勝利を収めた石破茂氏は、「五つの守る」——「ルールを守る」「日本を守る」「国民を守る」「地方を守る」「若者・女性の機会を守る」——をスローガンに掲げ、新内閣を発足させました。防衛庁長官経験者を3名も起用するなど、その布陣からは明確な安全保障重視の姿勢が読み取れます。

確かに、激動する国際情勢の中で、国防の強化や同盟国との連携強化は不可欠です。近隣諸国との緊張関係や、世界各地での紛争の増加を考えれば、これは当然の政策判断といえるでしょう。しかし、真に「国民を守る」という責務は、単なる軍事的な防衛にとどまりません。むしろ、より身近な国民の命健康と生活の安全を確保することこそが、政治の根本的な使命ではないでしょうか。

この文脈で近年、特に看過できない問題として浮上しているのが「レプリコンワクチン」をめぐる諸問題です。これは、コロナ禍で実用化された mRNA ワクチンの「次世代版」と謳われる新技術ですが、その導入プロセスには重大な疑問が投げかけられています。従来型のワクチンとは異なり、体内で自己増殖する特性を持つこの新技術は、医療界でも大きな議論を呼んでいます。

最も注目すべきは、この新型ワクチンが世界に先駆けて日本で認可された事実です。ご存知の通り、日本の医薬品認可制度は世界でも最も厳格な部類に入ります。新薬の承認には通常3年から7年もの期間を要し、膨大な臨床データの検証が必要とされます。そのため、通常、新薬は欧州での承認を皮切りに、米国を経て最後に日本で認可されるのが常道です。それにもかかわらず、開発国である米国や治験したベトナムでさえ認可していない製品が、なぜ日本で最初に承認されたのでしょうか。

さらに深刻なのは、「シェディング（伝播）」の可能性です。このワクチンの特徴である自己複製能力が、接種者から非接種者への意図せぬ伝播を引き起こすリスクが指摘されています。この懸念は既に社会的な軋轢を生み出しており、一部の飲食店では接種者の入店を制限する事態まで発生しています。特に、免疫機能が低下している方々や、基礎疾患をお持ちの方々にとって、この問題は深刻な不安要因となっているのです。

こうした状況を重く見た日本看護倫理学会は異例の緊急声明を発表し、慎重な対応を求めています。声明では、十分な治験期間の確保や、長期的な副作用の検証の必要性が指摘されており、医療現場からの切実な警告として受け止める必要があります。

結局、この10月からは65歳以上の高齢者等を対象とした定期接種も開始されてしまいましたが、こうした重要な政策決定のプロセスと根拠について、より詳細な説明が求められるべきではないでしょうか。また、特に気がかりなのは、このワクチン政策に関する情報公開の不足です。マスコミでのこのワクチンのリスクに関する報道はもちろん、この度多くのテーマを討議する機会があったはずの自民党総裁選でも、まったく議論の対象にならなかったことは異様とさえ言えます。一般市民が適切な判断を下すために必要な情報が、十分に提供されているとは言えない状況なのです。

国民の生命と健康を守ることは、政治の最も基本的な責務です。次期選挙に向けて、私たち有権者は、表面的なスローガンではなく、真に国民を守り抜く意思と能力を持つ政治家を見極めていく必要があります。今こそ、私たちは「守る」という言葉の真の意味を問い直し、それを実現できる政治家を選ぶ賢明な判断が求められています。

参考資料

- 日本看護倫理学会「レプリコンワクチンに対する緊急声明」
<https://www.jnea.net/news/cat-statement/post-655/>



(株)パリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄

パリミキアセット運用報告会 2024秋

今年上半期（2024年4月から2024年9月）の前半は、年初から好調が続いた後、持ち合っていた日本株式市場が、円安を背景に6月中旬から上昇し、7月11日には、1989年の大納会でつけた史上最高値の38,915円を超え、42,000円の大台に乗せましたが8月5日には、日経平均が前日比4,451円という史上最大の下落幅となりました。その後反発し、米国株式は最高値近辺にまで戻るものの、日本株式市場は更なる円高が影響し、不安定な状況が続いています。このような環境の中、私どもが、どのように考え運用してきたかを詳細にお伝えしたいと思います。また、ここから先の展望についても詳しく説明の上、皆様のご理解を深めていただきたいと思います。

〈東京〉

10月25日(金) 18:30～20:00

参加費用等について

定員：対面【25名】 ネット中継【30名】

参加費：無料 ※交流会にご参加の場合は2,000円

会場

パリミキアセットマネジメント 会議室

東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル2F

(ビル1階はカフェ・ベローチェです)

(東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口 徒歩1分)

(東京メトロ銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」

A13番出口 徒歩4分)

〈大阪〉

10月28日(月) 18:30～20:00

参加費用等について

定員：25名 ※大阪は対面のみ開催

参加費：無料 ※交流会にご参加の場合は2,000円

会場

パリミキ アメリカ村店2Fサロン

大阪府大阪市中央区西心斎橋2丁目10番30号

蔵人西心斎橋ビル2階

(大阪メトロ「心斎橋駅」8番出口 徒歩4分)

元気になれるかもツアー at たねころ山2024秋

〈伊豆たねころ山〉

11月2日(土)

【宿泊】2024年11月2日(土) 11:00～翌11:00

【日帰り】2024年11月2日(土) 11:00～15:45

2015年春、会長の多根が「かっこいいお金の使い方」を目指して、「皆が食を通じて元気になる場をつくろう」と、みかん山の休耕地を取得して始めたのが「伊豆たねころ山農園」です。今回は、11月上旬なので天候のリスクも少なく、キャンプにはちょうどいい気候だと思います。芋ほりなども季節かな。また、今回、特に宿泊プランは、たねころ山ならではの薬膳料理とヨガをお楽しみいただきます。夕食は烏骨鶏のスープを中心とした本格的な薬膳料理、夜は星空を見上げながらスカイデッキでマインドフルネス、そして山で採れた薬草を入れた檜風呂、翌朝は爽やかな木々の中で朝ヨガを楽しんでいただけます。

対面参加

参加費

日帰り：3,500円

テント泊：13,500円(テント、寝袋、夕食と朝食付き)

定員

日帰りプラン：30名

宿泊プラン：20名

会場

伊豆たねころ山農園

静岡県伊東市宇佐美

※詳細は開催一週間程前にメール或いは郵送にてお知らせ致します。



「ビギナーのためのお金のレッスン」

「ビギナーのためのお金のレッスン」というセミナーシリーズ2回目を開催致します。2019年の1回目にもご登壇いただきました、金融コンサルタント、経済評論家の岩本沙弓（いわもとさゆみ）様に、専門の為替を軸に世界の行く末について優しくお話しいただきます。

後半は、代表取締役社長の磯野が「あいのり投資」について、またファンドマネージャーの宇野が運用の現状についてお話をさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

〈大阪〉 11月29日(金) 18:30～20:30

参加費用等について

定員：70名 参加費：無料
※交流会にご参加の場合は3,000円

会場

大阪市中央公会堂

大阪市北区中之島1丁目1番27号
(大阪メトロ「淀屋橋」1番出口 徒歩5分)
(大阪メトロ「北浜」26番出口 徒歩10分)
(京阪電車「中之島線」1番出口 徒歩1分)

① 『世界の今とお金の話』



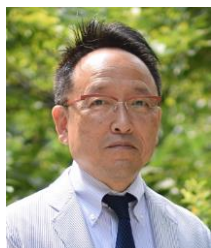
金融コンサルタント経済評論家
岩本沙弓氏

1991年3月東京女子大学文理学部卒業後、日本・アメリカ・カナダ・オーストラリアの金融機関にてバイス・プレジデントとして国際金融取引(トレーディング業務)に従事。銀行在籍中、日本経済新聞社発行のニューズレターに7年間、為替見通しを執筆、そして青山学院大学大学院国際政治経済学科修士課程修了。

また、金融機関専門誌『ユーロマネー』誌のアンケートで為替予測部門の優秀ディーラーに選出。執筆活動の他、参議院特別委員会に有識者参考人として出席。学術講演会、通信社主催の講演活動では主に国際金融市場における日本の立場を解説。

現在は、時事通信社の論説サービス「コメントライナー」、時事通信社の「金融財政ビジネス〈Vox Femina〉」、共同通信社「経済ウイークリー〈にっぽん診断〉」などの執筆連載の他、参議院特別委員会・調査会、学術講演会、日本全国の新聞社主催の講演会等で国際金融市場における日本の立場や税制問題を中心に解説。

② 『“あいのり投資” お金の不安から解放される究極の投資術』



代表取締役社長
磯野昌彦



ファンドマネージャー
宇野隆一郎

お知らせ

X はじめました！

@PM_Asset



マーケットに関するコメントやセミナー情報など発信していきます。ぜひフォローをお願いいたします！

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の交付について

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を電子交付・郵送いたしました。

今回は2024年7月～9月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後のお取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

「取引残高報告書(定期交付)」は、お預かり残高と取引の明細を定期的にご報告する法定書類です。

「ご投資状況のお知らせ」は、ご投資金額に対する報告書作成時点の運用損益を記載したものです。

これまでのお取引状況および運用状況(トータルリターン)をご確認ください。

特定口座の源泉徴収区分の変更について

特定口座をご利用いただいているお客様の、2025年適用分源泉徴収区分の変更受付を開始しております。

「源泉徴収あり・なし」の変更をご希望のお客様は、2024年12月2日(月)までに、お電話にて「特定口座源泉徴収選択届出書」をご請求くださいますようお願い致します。

■ご注意■

- ・源泉徴収区分の変更は、2025年中の解約や配当金等の受入れの受渡完了後は変更できません。
- ・源泉徴収区分は、お客様からのお申し出がない場合は、前年の区分が継続されます。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**11月5日(火)**です。

11月分金額変更・中止・再開締切日…**10月22日(火)**

12月分新規・口座変更締切日…**10月31日(木)**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上(再開を除く)でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。



株式会社パリミキアセットマネジメント
(受付時間：平日9時～17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968

E-mail: support@pmam.co.jp

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT